

学科名	演劇スタッフ科
コース名	
授業科目	舞台ゼミ3
必選	必
年次	2年次
実施時期	前期
種別	実習
時間数	120
単位数	4
担当教員	寺嶋陽子・山田岳史・山本浩二・増田有示
実務経験	有
実務経験職種	デザイン、音響、大道具、舞台監督
授業概要	本授業は、主に役者と演出家を体験することにより、演出家の考え方と役者の動きを研究し、演劇の概念から企画、実施運営までについて講義する。また、実体験や戯曲を紹介しながら、演劇業務に携わるために必要な知識と演劇関連用語について講義する。さらに、グループで演劇作品を製作、発表を行う。
到達目標	グループワークショップから仕事の上でのコミュニケーションを体得する。役者が行うウォーミングアップを体験し、心身共に健康であることを目指す。戯曲の読み方、解釈のやり方を学び、戯曲解釈を的確にすることにより、演出プランや演技プランを考え、実践できるようになる。
授業方法	コミュニケーションワークショップ。役者の呼吸法や体の使い方を知る。戯曲解釈の講義。劇作講座。主に演出家・役者を体験し公演を行う。
成績評価方法	試験・課題 50% 試験と課題を総合的に評価する 小テスト 10% 授業内容の理解度を確認するために実施する 成果発表 20% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する
履修上の注意	特定の人達とだけでなく、できるだけ多くの人達と話すようにすること。自ら考え、行動し、問題解決することを心がける。受講者全員が役者体験をすることが必須である。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない
教科書・教材	必要時にレジュメ・資料を配布する。また練習問題等も配布する。

授業計画	
第1回	ガイダンス、演出家の成り立ち
第2回	作品研究①開催国・人種にあわせた演出方法
第3回	稽古前に演出家が準備しておくこと
第4回	演出プランとスタッフワークについて①
第5回	演出プランとスタッフワークについて②
第6回	演出プランとスタッフワークについて③
第7回	立ち位置を考える
第8回	作品研究②
第9回	作品研究③
第10回	場面転換の紹介
第11回	作品研究④
第12回	「ベルトルト・ブレヒト」演出論について
第13回	「コンスタンチン・スタニスラフスキー」俳優養成について
第14回	課題①「シェイクスピア四大悲劇」
第15回	課題②「チャーホフ四大喜劇」戯曲読解方法について